



岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和8年2月20日（金）		岐阜県発表資料	
担当課	担当係	担当者	電話番号
消防課	予防保安係	子林 中島	内線 2887 直通 058-272-1123 FAX 058-278-2549

## 岐阜県内における令和7年の火災概況（速報）

令和7年の火災概況をとりまとめましたのでお知らせします。火災件数は増加しましたが、死者及び負傷者が減少しました。なお、数値は令和8年1月31日現在のものであり、現在調査中のものについては、今後変動する場合があります。

### 記

#### 1 火災件数 「表1・2」参照

令和7年中における火災件数は723件で、これは、1日あたり約1.98件火災が発生したことになります。

前年の677件と比較すると、46件の増加となっています。

火災種別でみると、「建物火災」352件（対前年比17件減）、「林野火災」15件（同3件増）、「車両火災」80件（同12件増）、「その他の火災」276件（同48件増）となっています。

#### 2 出火原因 「表4」参照

全火災723件を出火原因別にみると、「たき火」96件（13.3%）、「火入れ」50件（6.9%）、「たばこ」42件（5.8%）、「こんろ」41件（5.7%）、「電気機器」37件（5.1%）、「放火の疑い」31件（4.3%）、「電灯・電話等配線」28件（3.9%）、「配線器具」24件（3.3%）、「放火」22件（3.0%）、「ストーブ」20件（2.8%）、「マッチ・ライター」11件（1.5%）、「火遊び」5件（0.7%）の順となっています。

#### 3 火災による死者及び負傷者 「表1・7」参照

令和7年中の火災による死者数は25人で、前年と比較すると12人の減少となりました。

火災による負傷者数は93人で、前年と比較すると35人の減少となりました。

#### 4 住宅火災による死者 「表9」参照

住宅火災における死者数（放火自殺者を除く）は15人で、前年と比較すると10人の減少となりました。このうち65歳以上の高齢者は13人で、住宅火災による死者の86.7%を占めています。

<参考>火災件数・火災による死者及び負傷者

単位：件・人

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	平均*	R7
件数	674	686	667	725	624	607	611	634	710	677	661.5	723
死者	29	29	20	24	19	26	37	34	25	37	28.0	25
負傷者	104	96	95	96	80	86	89	95	99	128	96.8	93

\*過去10年(H27～R6)の平均

<特に県民のみなさんに注意いただきたい事項>

◆住宅用火災警報器の設置促進

すべての住宅で寝室などに設置を義務付けられている住宅用火災警報器は、火災の発生を直ちに知らせ、逃げ遅れ対策に有効です。本県の設置率(R7.6.1現在)は82.0%で、条例で定められた設置義務のある場所すべてに設置している住宅の割合(条例適合率)は、63.1%です。

大切な命を守るため、未設置の方は1日も早く設置していただくとともに、設置している方も、適切な場所に設置しているか確認するほか、電池切れ等の無いように、こまめに作動検査を実施し適切に維持管理しましょう。

◆屋外での火の取扱いに注意

令和7年の出火原因第1位は、令和6年同様「たき火」でした。本県では17年連続で出火原因としてたき火が最も多くなっています。また、「火入れ」は出火原因第2位となっています。たき火や火入れは、林野火災等大規模な火災につながるおそれがあります。準備、後始末を適切に行うことで、火災を防ぐことができますので、屋外での火の取扱いには特に次の点に注意してください。

- ・強風時や乾燥時にたき火、火入れをしない。
- ・水バケツ等の消火準備を必ず行う。
- ・完全に消火したことを確認する。
- ・火遊びはしない、させない。
- ・たばこは必ず消し、投げ捨てない。

◆放火による火災の未然防止

「放火」と「放火の疑い」を合わせると出火原因の7.3%を占めます。放火を未然に防ぐ環境づくりを地域で進めましょう。

- ・住宅の周辺に燃えやすいものを放置しない。  
新聞やチラシの放置や洗濯物の取り込み忘れに注意しましょう。
- ・ゴミは決められた日時に決められた場所に出す。  
前日のごみ出しや、ごみの放置は狙われます。
- ・隣近所とコミュニケーションを取り、地域ぐるみで監視する。  
家の周辺を明るくし、狙われにくい地域づくりを心がけましょう。